

2011.2.10

本日の朝日新聞朝刊の参議院選挙制度改革に関する記事について

2月10日の朝日新聞朝刊に掲載された参議院選挙制度改革に関する「民主が隣接区統合案」の記事は、辻泰弘が提案した合区案の最大較差が3.523倍であると報じておりますが、これは朝日新聞が誤った前提をもとに、勝手に、かつ、極めて単純に試算した結果であり、全くの誤報です。

現時点では公表しておりませんが、辻泰弘が参議院法制局と作成した試算結果では、3倍弱になります。

さらに、記事に掲載された定数増となる対象選挙区も間違っています。

以上

参議院議員 辻 泰弘